

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : OxiSelect™ AOPP アッセイ
製品番号 : STA-318 (メーカー略号: CBL)
構成品名 : Stop Solution
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 3

健康に対する有害性

急性毒性(経皮):区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分 1(血液、呼吸器系)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性):区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

皮膚に接触すると有害

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

重篤な眼の損傷

臓器の障害(血液、呼吸器系)

水生生物に有害

注意書き

安全対策

環境への放出を避けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合:指定された消火剤を使用すること。

直ちに医師に連絡すること。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合:口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の物理的及び化学的危険性

燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

慣用名又は別名 : エタン酸、メタンカルボン酸、氷酢酸

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	官報公示整理番号
酢酸	< 100	64-19-7	2-688

危険有害成分

安衛法「表示・通知すべき有害物」該当

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水又はシャワーで洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

火気に注意する。適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項

腐食性/刺激性製品。寸秒でも早く皮膚の洗浄を始め、触れた物質を完全に洗い流す必要がある。

医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、粉末、耐アルコール泡、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、毒性または腐食性のガスを発生するおそれがある。

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置**特有の消火方法**

- 消火水の下水への流入を防ぐ。
- 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

- 消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

- 回収が終わるまで十分な換気を行う。
- 適切な保護具を着用する。
- 眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

環境に対する注意事項

- 環境中に放出してはならない。下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策****(取扱者のばく露防止)**

- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 皮膚や眼との接触を避けること。

(火災・爆発の防止)

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

安全取扱注意事項

- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

- 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管**安全な保管条件**

- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。
- 4℃で保存すること。直射日光を避けること。

安全な容器包装材料

- 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度** : データなし**許容濃度**

- 日本産衛学会(1978) 10ppm; 25mg/m³
- ACGIH(2004) TWA: 10ppm;
- STEL:15ppm (上気道及び眼刺激、肺機能)

ばく露防止**設備対策**

- 洗眼設備・安全シャワーを設けること。
- 適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(酸性ガス用防毒マスク)

手の保護具

保護手袋を着用する。(不浸透性)

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。(長袖)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：刺激臭

融点/凝固点：16.7℃

沸点又は初留点及び沸点範囲：118℃

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：6

爆発上限：17

引火点：39℃

自然発火点：485℃

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

水に対する溶解度：混和する

溶媒に対する溶解度：エタノール、ジエチルエーテルに可溶、二硫化炭素に不溶

n-オクタノール/水分配係数：log Pow-0.17

蒸気圧：1.5 kPa (20℃)

密度/相対密度：1.05

相対ガス密度(空気=1)：2.1

粒子特性：データなし

10. 安定性及び反応性**反応性**

データなし

化学的安定性

通常取り扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸化性物質、塩基と激しく反応する。一部の金属に腐食性を示す。

避けるべき条件

直射日光、高温、火気、静電気

混触危険物質

強酸化性物質、アルカリ性物質、金属、プラスチック、ゴム

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報**急性毒性**

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

rat LD50=3310mg/kg (PATTY 5th, 2001)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

rabbit LD50=1060mg/kg (PATTY 5th, 2001)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]

ラビット/モルモット 重度の熱傷 (PATTY 5th, 2001 et al)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]

ラビット 永続的角膜損傷 (IUCLID, 2000et al)

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし

生殖細胞変異原性 : データなし

発がん性 : データなし

催奇形性 : データなし

生殖毒性 : データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

血液、呼吸器系 (ACGIH, 2004)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に有害

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=65mg/L/48hr (Aquire, 2010)

水溶解度

混和する (ICSC, 2010)

残留性・分解性

BODによる分解度:74% (既存点検)

生体蓄積性

log Pow=-0.17 (PHYSPROP DB, 2005)

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

環境への放出を避けること。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

製品入り容器と同様に処分する。地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号 : 2789

品名(国連輸送名) : 氷酢酸又は酢酸溶液、濃度が80質量%を超えるもの

国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8

副次危険 : 3

容器等級 : II

指針番号 : 132

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Z類) 該当

国内規制がある場合の規制情報

消防法の規定に従う。

船舶安全法 腐食性物質 分類8

航空法 腐食性物質 分類8

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物 該当(別表第9の606)

名称等を通知すべき危険/有害物 該当(別表第9の606)

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係) 危険物・引火性の物(30°C ≤ 引火点 < 65°C)

腐食性液体(規則第326条) 該当

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法

危険物 第4類 引火性液体第2石油類(水溶性) 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN

IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)

IATA 航空危険物規則書 第62版(2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)

2021 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : OxiSelect™ AOPP アッセイ
製品番号 : STA-318 (メーカー略号: CBL)
構成品名 : Chloramine Reaction Initiator
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2B
生殖毒性: 区分 1B
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響: 追加区分
特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(甲状腺)
特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(皮膚、甲状腺、全身毒性)

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
授乳中の子に害を及ぼすおそれ
臓器の障害(甲状腺)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(皮膚、甲状腺、全身毒性)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：化学物質
慣用名又は別名：ヨードカリウム

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	官報公示整理番号
ヨウ化カリウム	< 100	7681-11-0	1-439

危険有害成分
安衛法「表示・通知すべき有害物」該当

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

水噴霧、粉末、泡、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

粉じんが飛散しないようにする。下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

粉じんを発生させないように掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件

4°Cで保存すること。容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度

ACGIH(2008) TWA: 0.01ppm(IFV) (甲状腺不全; 上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：固体

色：無色

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：該当なし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：該当なし

水に対する溶解度：易溶

溶媒に対する溶解度：データなし

溶媒の溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度 : データなし
相対ガス密度(空気=1) : 該当なし
粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
データなし
避けるべき条件
直射日光、熱
混触危険物質
強酸化性物質、塩基
危険有害な分解生成物
ハロゲン化物

11. 有害性情報

急性毒性 : データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性 : データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
[日本公表根拠データ]
ラビット 僅かな刺激性 (HSDB, 2015)
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性
[ACGIH]
A4(2008) : ヒト発がん性因子として分類できない
生殖毒性
[日本公表根拠データ]
cat. 1B; CICAD 72, 2009; ATSDR, 2004
cat. add; CICAD 72, 2009; ATSDR, 2004
催奇形性 : データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
甲状腺 (ATSDR, 2004)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)
[区分1]
[日本公表根拠データ]
皮膚、甲状腺、全身毒性 (CICAD 72, 2009; 医療用医薬品集, 2016(2015))
誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 : データなし
水溶解度
148 g/100 g (HSDB, 2010)
残留性・分解性 : データなし
生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類 : 非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード
有害液体物質(Y類同等) 該当

国内規制がある場合の規制情報 : 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法
名称等を表示すべき危険/有害物 該当(別表第9の606)
名称等を通知すべき危険/有害物 該当(別表第9の606)
化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当
消防法 : 非該当
化審法 : 非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)
2021 TLVs and BEIs. (ACGIH)
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称 : OxiSelect™ AOPP アッセイ
製品番号 : STA-318 (メーカー略号: CBL)
構成品名 : ①Chloramine Standard
②10X Assay Diluent
③AOPP-HSA Positive Control
会社名 : コスモ・バイオ株式会社
住所 : 東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署 : 製品情報部
電話番号 : 03-5632-9610 FAX : 03-5632-9619
e-mail address : mail@cosmobio.co.jp
推奨用途 : 試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

本商品はGHS分類に該当しない

GHSラベル要素

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分 : Chloramine (①)、非公開(②)、AOPP-HAS, proteins (③)

危険有害成分

毒物及び劇物取締法, 安衛法「表示、通知すべき有害物」, 化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を水と石けんで洗うこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

データなし

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管

安全な保管条件

4℃で保存すること。(①、②)

-20℃で保存すること。(③)

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：データなし

許容濃度：データなし

ばく露防止

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：データなし

臭い：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：データなし

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし

密度/相対密度：データなし

相対ガス密度(空気=1): データなし
粒子特性: 該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
 データなし
化学的安定性
 通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
 データなし
避けるべき条件
 直射日光、高温
混触危険物質
 データなし
危険有害な分解生成物
 データなし

11. 有害性情報

急性毒性: データなし
局所効果
 皮膚腐食性/刺激性: データなし
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性: データなし
生殖細胞変異原性: データなし
発がん性: データなし
催奇形性: データなし
生殖毒性: データなし
特定標的臓器毒性(単回/反復ばく露): データなし
誤えん有害性: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性: データなし
残留性・分解性: データなし
生体蓄積性: データなし
土壌中の移動性: データなし
オゾン層への有害性: データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
 地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類: 非該当

注意事項 輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報: 非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
Supplier's data/information

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。